

公共交通

对策室

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
02020020	基本施策	14 交通体系の整備	事業優先度	A	地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業
	単位施策	2 公共交通の維持・確保			
事業名	生活交通路線維持確保事業			担当課	公共交通対策室
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	路線バス運行便数（①北紋バス：雄武線、②宗谷バス：雄武線）			数値目標	①5便 ②2便

全体計画事業内容				令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容				
移動手段を持たない町民や公共交通機関を利用して本町を訪れる観光客などの移動手段となっている路線バスについて、地域の公共交通を維持するため、バス事業へ運行補助を行う。  ・北紋バス(株)（雄武線）への運行補助（雄武紋別間） ・宗谷バス(株)（雄武線）への運行補助（雄武枝幸間）				北紋バス(株)への運行補助 11,542千円		北紋バス(株)への運行補助 9,000千円		北紋バス(株)への運行補助 9,000千円		北紋バス(株)への運行補助 9,000千円		北紋バス(株)への運行補助 9,000千円				
				宗谷バス(株)への運行補助 7,000千円		宗谷バス(株)への運行補助 7,000千円		宗谷バス(株)への運行補助 7,000千円		宗谷バス(株)への運行補助 7,000千円		宗谷バス(株)への運行補助 7,000千円		宗谷バス(株)への運行補助 7,000千円		
年度別数値目標				①5便 ②2便		①5便 ②2便		①5便 ②2便		①5便 ②2便		①5便 ②2便				
財 源 内 訳	計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費	
	国庫支出金	0	0													
	道支出金	0	0													
	地方債	0	0													
	その他	0	0													
	一般財源	82,542	17,638	18,542	17,638	16,000	0	16,000	0	16,000	0	16,000	0	16,000	0	
合計(千円)		82,542	17,638	18,542	17,638	16,000	0	16,000	0	16,000	0	16,000	0	16,000	0	
特 定 財 源			評 価 ・ 実 績	実施内容		・宗谷バス(株)への運行補助 6,408千円 ・北紋バス(株)への運行補助 11,230千円										
				評価結果		A - 継続 / 現状維持										

事業名	生活交通路線維持確保事業	評価者 管理職 職氏名	公共交通対策室長	大水 寛仁
		評価者 作成者 職氏名	対策係長	小俣 博和

令和5年度実施  
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	独自の移動手段を有さない町民、公共交通機関を利用して当町を訪れる町外者など		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	バス路線運行便数/日	
抱える課題やニーズ	乗車人数の減少により、町補助額の増大や運行便数が減となる懸念がある			指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか (意図)	雄武-紋別間 (1日最大5便運行)、雄武-枝幸間 (1日最大2便運行) のバス路線において、現状維持を図る		①	運行便数/日	北紋バス路線
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	独自の移動手段を有さない等の町民、公共交通機関を利用して当町を訪れる町外者に対して、最低限の移動手段が確保される			目標年度	令和5年度
内容 (どのような手段で何を行ったか)	バス事業者への運行経費等補助		目標値	5便/日	
	オホーツク及び宗谷地域公共交通活性化協議会出席		実績値	5便/日	
	バス路線を維持するため、バス事業者 (北紋バス(株)・宗谷バス(株)) に対し、運行経費等に係る補助を行った。		達成度	100.0 %	
	人口減少によるバス利用者の減少や運転手の不足等といった困難な課題に直面している乗り合いバスを中心とした公共交通ネットワークを将来にわたり維持・存続させていくため、北海道とオホーツクまたは宗谷管内全市町村による公共交通活性化協議会に出席した。		目標年度	令和5年度	
			目標値	2便/日	
			実績値	2便/日	
			達成度	100.0 %	

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	独自の移動手段を有さない町民や公共交通機関を利用して当町を訪れる町外者などの移動手段となるバス路線は必要不可欠であり、行政の使命として維持確保を図る必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		本事業の実施により、1日の運行便数が維持され、バス利用者の生活に支障を来さなかったものと判断されることから有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由		1日あたりの乗車密度が補助基準を下回った場合、応分の国・道補助金が減額されることから、運行回数の維持のため最小限の運行支援に努めており、また、補助額の8割が特別交付税措置されることから、概ね効率的と判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由		バス利用者としての受益者負担もあるが、路線維持は町民ニーズに適ったものであり、特に通学者、通院者、高齢者にとっての重要な移動手段となっている。また、ビジネスや観光などの利用もあり、地域における公共交通として、行政がバス事業者に補助することは公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
燃料費高騰、人員確保に関する経費によって、バス事業者への補助額が増加傾向にあるが、町民等の移動手段であるバス路線の維持確保を図ることができた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
今後もバス事業者や近隣自治体と協調しながら、町の財政力に応じた補助を継続することが適当である。また、北海道と管内各市町村が共同で策定する計画に基づき、バス路線の維持と利用促進に努めていく必要がある。			

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	4 快適感を満たす環境のまち・雄武 生活環境・生活基盤の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
02020030	基本施策	14 交通体系の整備	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	2 公共交通の維持・確保			
事業名	地域公共交通活性化事業			担当課	公共交通対策室
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①協議会委員数 ②会議開催数			数値目標	①10人以上 ②9回

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
町民等の生活に必要なバス等の公共交通の利便の増進を図り、地域の特性・実情に応じた最適な移動手段の提供等を図るため、地域公共交通計画を策定し、将来にわたって持続可能な公共交通網の構築を目指す  ・雄武町地域公共交通計画策定 ・地域公共交通活性化協議会設立			雄武町地域公共交通計画策定 地域公共交通活性化協議会設立 協議会委員委嘱 協議会開催  5,699千円		雄武町地域公共交通計画策定 地域公共交通活性化協議会開催 実証事業検討  5,793千円		地域公共交通活性化協議会開催  50千円		地域公共交通活性化協議会開催  50千円		地域公共交通活性化協議会開催  50千円	
			年度別数値目標		①10人以上 ②2回		①10人以上 ②4回		①10人以上 ②1回		①10人以上 ②1回	
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	11,642	5,742	5,699	5,742	5,793	0	50	0	50	0	50
合計(千円)	11,642	5,742	5,699	5,742	5,793	0	50	0	50	0	50	0
特定財源	評価・実績		実施内容		・地域公共交通活性化協議会設立 ・地域公共交通活性化協議会の開催 ・意見交換会の開催							
			評価結果		A - 継続 / 現状維持							

事業名	地域公共交通活性化事業	評価者 管理職 職氏名	公共交通対策室長	大水 寛仁
		評価者 作成者 職氏名	対策係長	小俣 博和

令和5年度実施  
令和6年度評価

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	町民、バス事業者	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	地域公共交通活性化協議会の設置・開催状況	
抱える課題やニーズ	高齢者等の運転免許返納等による公共交通機関への需要が今後増加していくのに対して、公共交通事業者の体力の低下	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか (意図)	本町に適した持続可能な公共交通サービスの提供	① 協議会委員数	目標年度 目標値	令和5年度 10人
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民の移動手段の確保と利便性の向上、交通事業者の事業継続	② 会議開催数	実績値	25人
			達成度	250.0%
内容 (どのような手段で何を行ったか)	地域公共交通活性化協議会の設立	10月18日に委員25名による雄武町地域公共交通活性化協議会の立ち上げを行った。		
	地域公共交通活性化協議会の開催	2回の協議会と町議会議員・協議会委員を対象とした意見交換会を1回開催した。		
	交通事業者、各団体からの意見聴取	町内の交通事業者や学校、観光協会、商工会、自治会連合会、社会福祉協議会等から公共交通に係る意見を聴取した。		

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	将来にわたって持続可能な公共交通を構築し、町民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることは、必要不可欠である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	高齢化が進行し、高齢者の運転免許返納等による公共交通機関への需要が今後増加していくことが予想されることから、将来にわたって持続可能な公共交通網の構築を行うことは有効であると判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	計画の策定に係る公共交通アドバイザー委託料については、総務省の地域力創造アドバイザーを活用することで、全額が特別交付税措置されることから、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	将来にわたって持続可能な公共交通網の構築につながるものであり、広く町民全般にかかわることから、公平性に問題はないものと判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
次年度の公共交通計画の策定にあたり、町内の交通事業者や各団体、議会議員等の意見を聴取し、課題の整理を行うことができた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
地域公共交通計画策定に向けて、コミュニティバスやデマンドバスなど新たなモビリティを検討するとともに運転手の確保など引き続き持続可能な公共交通の構築を図る。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止